

強迫性障害

平成22年3月7日(日) (在籍時間 11:35~12:30) 709会議室(7階)

P2-1

保存(物の溜め込み)症状を有する本邦強迫性障害患者の臨床特徴

松永寿人¹ 林田和久¹ 大矢健造¹ 切池信夫¹

1. 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

P2-2

発症時期別にみた強迫性障害の臨床特徴について

村山桂太郎¹ 中尾智博¹ 實松寛晋¹ 岡田佳代² 神庭重信¹

1. 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
2. 三善病院

P2-3

Voxel-Based Morphometryによる強迫性障害の灰白質体積異常の検討

中前 貴¹ 成本 迅¹ 西田誠司¹ 酒井雄希¹ 福居顯二¹

1. 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

P2-4

強迫性障害に対する系統的脱感作

—不安階層表作成に付箋を用いて効果を上げた1症例—

西田裕子¹ 稲田泰之¹ 岡田弘司² 寺嶋繁典²

1. 医療法人悠仁会 稲田クリニック
2. 関西大学 臨床心理専門職大学院

P2-5

子どもの強迫性障害に対する認知行動療法プログラム(2)

—手洗いに対するエクスポージャーと家族関係調整を並行して取り入れた一例—

吉田沙蘭^{1,2} 藤岡 勲¹ 下山晴彦¹

1. 東京大学大学院教育学研究科
2. 日本学術振興会

P2-6

子どもの強迫性障害に対する認知行動療法プログラム(3)

—家族との協働関係の構築と学校との連携を取り入れた一例—

野田香織¹ 下山晴彦¹

1. 東京大学大学院教育学研究科

P2-7

子どもの強迫性障害に対する認知行動療法プログラム(1) —プログラム概要—

平林恵美¹ 西村詩織¹ 下山晴彦¹

1. 東京大学大学院教育学研究科

児童思春期関連

平成22年3月7日(日) (在籍時間 11:35~12:30) 709会議室(7階)

P2-8

児童の不安障害に対する個別認知行動療法の効果

元村直靖^{1,2} 本村暁子² 川端康雄² 竹本千彰⁴ 森千佳子⁵ 殿谷仁志¹ 石川信一³ 田中英高²

1. 大阪教育大学
2. 大阪医科大学
3. 宮崎大学
4. 有馬病院
5. おぐる医院

P2-9

不安を伴う不登校児童に対する認知行動療法の適用

石川信一¹ 下津紗貴² 下津咲絵³ 佐藤容子¹

1. 宮崎大学教育文化学部
2. 宮崎大学大学院教育学研究科
3. 九州保健福祉大学社会福祉学部

P2-10

小児期の分離不安障害と身体表現性障害を呈した6歳男児の遊戯療法の経過と
家族への心理教育についての考察

佐々木剛¹ 中里道子¹ 伊豫雅臣¹

1. 千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部精神神経科

P2-11

小中学生の不登校と不安障害：クリニック外来受診例から

奥野正景¹

1. 医療法人サヂカム会 三国丘こころのクリニック

リエゾン

平成22年3月7日(日) (在籍時間 11:35~12:30) 709会議室(7階)

P2-12

リエゾンコンサルテーションにおける不安障害の現状

—入院後不安発作を繰り返す妊娠患者のケースから—

天野雄一¹ 佐谷健一郎¹ 岩崎 愛¹ 菅 さくら¹ 久我原明朗¹ 端詰勝敬¹ 坪井康次¹

1. 東邦大学医学部心身医学講座

P2-13

コンサルテーション活動におけるがんの患者不安・抑うつ

橋本昌幸¹ 富田裕一郎¹ 瀧本禎之¹ 吉内一浩¹ 赤林 朗¹

1. 東京大学医学部附属病院心療内科

不安障害全般・その他

平成22年3月7日(日) (在籍時間 11:35~12:30) 709会議室(7階)

P2-14

不安障害におけるアリピプラゾール内用液の臨床効果について

西崎真紀¹

1. 大阪府済生会中津病院精神科

P2-15

不安障害の発症におけるライフイベントの影響

片上素久¹ 池谷俊哉² 福原秀浩¹ 熨斗孝充¹ 深田亮介¹ 岡崎純子¹ 切池信夫¹

1. 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学
2. 丹比荘病院

P2-16

不安障害へのベンゾジアゼピン系抗不安薬投与を考える
—タンドスピロンクエン酸塩使用経験から—

畠上大樹¹ 木村永一¹ 齋藤利和²

1. 医療法人盟侑会 鳥松病院
2. 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

P2-17

片頭痛における全般性不安障害とうつ病に関する検討
～大学病院総合診療科にて～

菅さくら¹

1. 東邦大学医療センター大森病院心療内科

P2-18

非定型うつ病に見られるPTSD症状

野口恭子¹ 正木美奈¹ 小松智賀¹ 貝谷久宣^{1,2}

1. 医療法人和楽会 赤坂クリニック・なごやメンタルクリニック
2. パニック障害研究センター

P2-19

周産期の低濃度BPA暴露が雄仔マウスの不安様行動を惹起する

松田真悟¹ 須藤千尋¹ 米久保淳³ 天野恵子² 佐二木順子² 清水栄司¹

1. 千葉大学大学院医学薬学府神経情報統合生理学
2. 千葉県衛生研究所
3. 日本ウォーターズK.K.

P2-20

自己注目と病理的心配および抑うつに関連

安藤孟梓¹ 古川洋和² 坂野雄二³

1. 北海道医療大学大学院心理科学研究科
2. 松本歯科大学歯学部
3. 北海道医療大学心理科学部

P2-21

抗うつ薬の抗うつ様作用およびストレス緩和様作用

甚目陽子¹ 内山一成² 榊原潤一郎² 山元俊憲¹ 蜂須 貢²

1. 昭和大学薬学部臨床薬学教室
2. 昭和大学薬学部臨床精神薬学教室

P2-22

不安・抑うつ発作の経過研究

正木美奈¹ 貝谷久宣^{1,2} 宇佐美英里² 野口恭子² 小松智賀² 井上 顕^{1,3}

1. 医療法人和楽会 なごやメンタルクリニック
2. 医療法人和楽会 赤坂クリニック 心療内科・精神科
3. 藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学

P2-23

指導に難渋する生活習慣病患者に伴う高うつ、不安度

吉原由美子¹

1. 東北労災病院勤労者予防医療センター

P2-24

ストレスに関連するCRH遺伝子SNPと性格との関連研究

岡本静子¹ 安東友子¹ 石飛佳宣¹ 兼久雅之¹ 河野健太郎¹ 丸山義博¹ 二宮大雅¹ 日隈晴香¹

田中悦弘¹ 津留壽船¹ 森永克彦¹ 花田浩昭¹ 児玉健介¹ 穂吉條太郎¹

1. 大分大学医学部精神神経医学講座

P2-25

桂枝茯苓丸で3年間患ったセネストパチーが3日で消失した1例

小林城治¹

1. J 戸越銀座クリニック